

事業名	環境日本一やまなしづくり実践活動推進費		
細事業名	環境パートナーシップやまなし負担金	財務コード	275209
担当部課室	森林環境 部 森林環境総務 課 環境活動推進 担当 (内線) 6091		

事業の概要

実施期間	始期 H14 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(環境パートナーシップやまなし)		
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	県民、民間団体、企業	各運動への参加を通して自らの生活行動を見直し、環境に優しいライフスタイルへの転換が図られている	日常的・自主的な環境保全活動の実践
事業の内容 主にH26年度	<p>事業概要</p> <p>行政機関、企業、民間団体、個人で構成される環境パートナーシップやまなしに対する負担金の支出。 ・負担金の相手先:環境パートナーシップやまなし(構成:行政機関、企業、民間団体、個人等) ・負担金内訳: 県 135,000円 市町村 5,000円 (会費:企業・団体 5,000円 個人 500円)</p> <p>「環境パートナーシップやまなし」が実施している主な事業</p> <p>環境保全活動にかかる企業、民間団体、行政機関、個人のネットワークづくりや地域に根ざした活動団体を育成</p> <p>1 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進・温暖化対策 ・「エコライフお絵かきコンテスト」 ・県民の日の出展・パレード活動</p> <p>2 各団体との連携 ・機関誌「きれいな甲斐」の発行 ・ネットワークフォーラムinやまなしの開催</p> <p>3 県等との連携 ・山梨エコライフ県民運動・やまなしクリーンキャンペーン・山梨県交通対策推進協議会への参画他</p>		
根拠法令等	環境パートナーシップやまなし会則		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	25年度	26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	・機関誌の発行	年4回	年4回	年4回	年4回	年4回	目標設定の考え方 ・過去の実績を参考 ・ネットワーク参加者は前年度実績以上
	・コンテスト啓発資料配布(箇所)	883箇所	900箇所	904箇所	950箇所	950箇所	データの出典等 過去の応募者数
	・ネットワークフォーラム(参加者数)	1回(50人)	1回(50人)	1回(50人)	1回(60人)	1回(60人)	
活動指標達成率(実績値/目標値)	%						
成果指標	・ごみがでない、長時間使用可能な商品を購入をしている人の割合	76.70%	100%	80.90%	100%	100%	目標設定の考え方 ・平成25年度「県政モニターによる廃棄物に関するアンケート」調査結果76.7%を踏まえて設定 ・前年度実績以上
	・エコライフお絵かき(川柳)コンテスト応募数	464人	470人	402人	お絵かき 410人 川柳 50人	お絵かき 400人 川柳 200人	データの出典等 ・平成25・26年度アンケート結果 ・過去の応募数
	成果指標達成率(実績値/目標値)	%					
決算額又は予算額(千円)	135		135	135	135	成果指標によらない成果	
うち一財額	135		135	135	135		
所要時間(直接分)	10 時間		10 時間	10 時間	10 時間		
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間		
所要時間計	10 時間		10 時間	10 時間	10 時間		
人件費1st 単位:千円(@2,048円×所要時間)	20		20	20	20		

これまでの事業の見直し・改善状況

--

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H26年度活動指標の達成率		環境保全活動に関わる情報を掲載した機関誌を、例年どおり年4回発行するとともに、エコライフお絵かきコンテストについても、例年どおり開催し、目標以上の904箇所に啓発資料を配付することができた。 またネットワークフォーラムについては、ワークショップのテーマの工夫など参加しやすい雰囲気づくりに努め、予定どおり50名の参加者を確保することができるなど、それぞれの活動について、予定された活動量を上げている。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H26年度成果指標の達成率		県政モニターによる、廃棄物(ごみ)に関するアンケートの結果によると、日常生活の中でごみの減量化や3Rの考え方は定着している傾向にあり、「エコライフお絵かきコンテスト」事業は、一定の効果を上げている。 県政モニター 廃棄物(ごみ)に関するアンケート結果 「商品の購入の際、ごみが少ない商品や使い捨てでない商品を選んで購入している」の割合 「購入している」「したことがある」と回答 平成24年度 76.7% 平成26年度 80.9%
	b	エコライフお絵かきコンテストの応募数 少子化の影響により、応募数が減少傾向にあるが、児童館や絵画教室など配布箇所の拡大を図る中で、85%以上の応募数を確保することができた。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
無	環境に関する意識の高い企業・団体・県民が、それぞれの立場での活動を行う中で、ネットワークを結成している組織は、県内で他に例がない。 また、協議会において、会員の拡大や事業の活性化について議論しているところであり、積極的に県や市町村と連携して環境保全活動事業を推進していることから、県としても引き続き負担していく必要がある。	

・「以外の判断項目」の欄
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成28年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等	「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
現行どおり		

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること